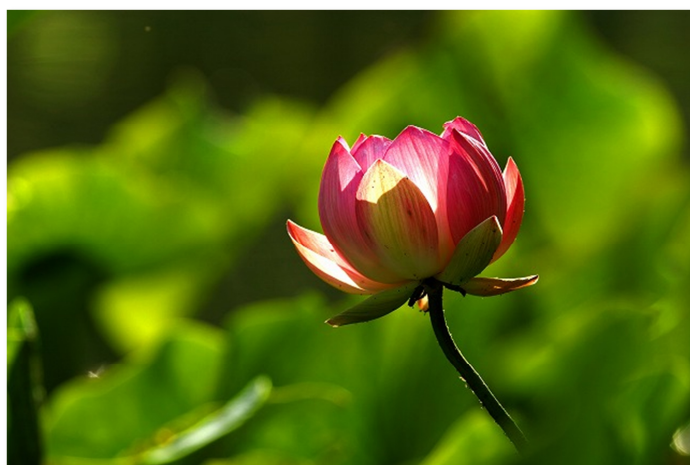


北広島市教育基本計画(2011-2020)

推進計画 《平成27～29年度》



平成27年3月

北広島市教育委員会

北広島市教育基本計画(2011-2020)
推進計画《平成 27～29 年度》 目次

教育推進計画について

1	教育推進計画の目的と位置づけ	1
2	施策の体系	1
3	計画の期間	1

政策及び施策の推進について

1	先人たちが伝える精神と教育基本計画に 定めた視点の反映	4
2	計画の進行管理（点検評価及び見直し）	4
3	次期教育推進計画	4

8つの政策と23の施策を進める個別事業 6

政策 1	やさしく支えあう教育連携の推進	...1～	6
政策 2	「生きる力」を育む学校教育の推進	...1～	16
政策 3	信頼され、魅力ある学校づくりの推進	...1～	14
政策 4	学びあい、教えあう社会教育の推進	...1～	7
政策 5	郷土愛を育む教育活動の推進	...1～	2
政策 6	生涯にわたる読書活動の推進	...1～	3
政策 7	芸術文化活動の振興	...1～	4
政策 8	健康づくりとスポーツ活動の推進	...1～	8
政策 1～8を支える経常経費		...1～	6

施策の方向性について 7

施策 1～23	...1～	23
---------	-------	----

教育推進計画について

1 教育推進計画の目的と位置づけ

この「北広島市教育基本計画(2011-2020)推進計画」(以下、「教育推進計画」という。)は、「北広島市総合計画(第5次)」の基本目標「人と文化を育むまち」に基づいて策定された「北広島市教育基本計画(2011-2020)」(以下、「教育基本計画」という。)に掲げる施策を着実に推進するため、個別・具体の事業を推進するとともに、進行状況を管理することを目的として策定するものです。また、この計画は市の教育計画体系の中で教育基本計画と各領域の諸計画・構想・プラン・方針などとの間に位置します。(図1)

2 施策の体系

教育推進計画は、教育基本計画の体系に基づき、「北広島市総合計画(第5次)2015 推進計画(平成27~29年度)」(以下、「市の推進計画」という。)に掲げられた事業のほか、国や道による委託事業や管理的な事務事業など、教育委員会が実施する事業全体を施策体系に示します。なお、市の推進計画に掲げる事業は、事業名・事業内容・年度計画などについて基本的に整合を図ります。(図2)

3 計画の期間

この教育推進計画の期間は、平成27年度から平成29年度までの3年間です。施策の点検評価により毎年見直しを行い、市の推進計画の見直しを踏まえながら、1年ごとに更新していきます。

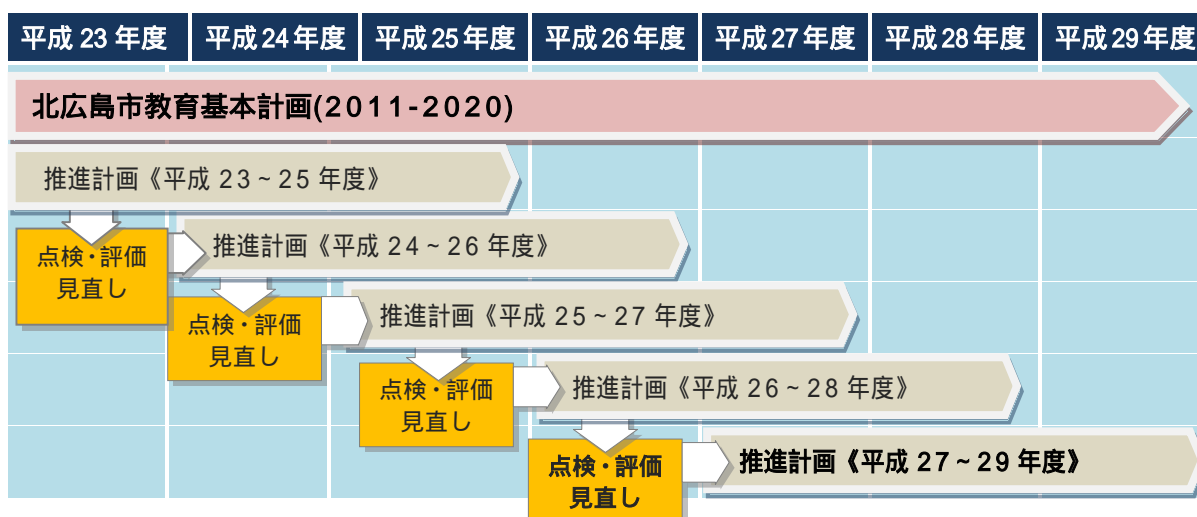


図1 北広島市の教育計画の体系

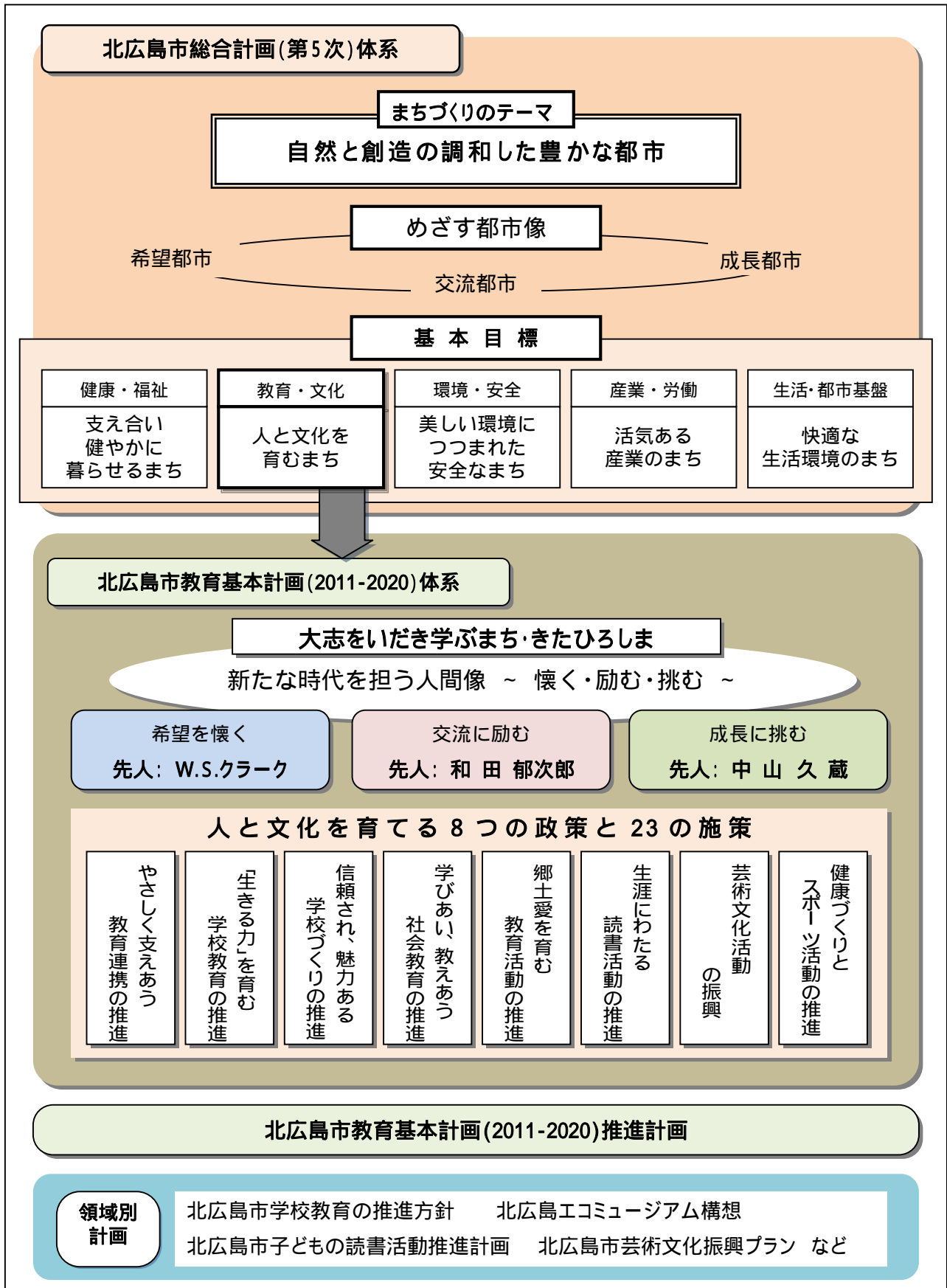
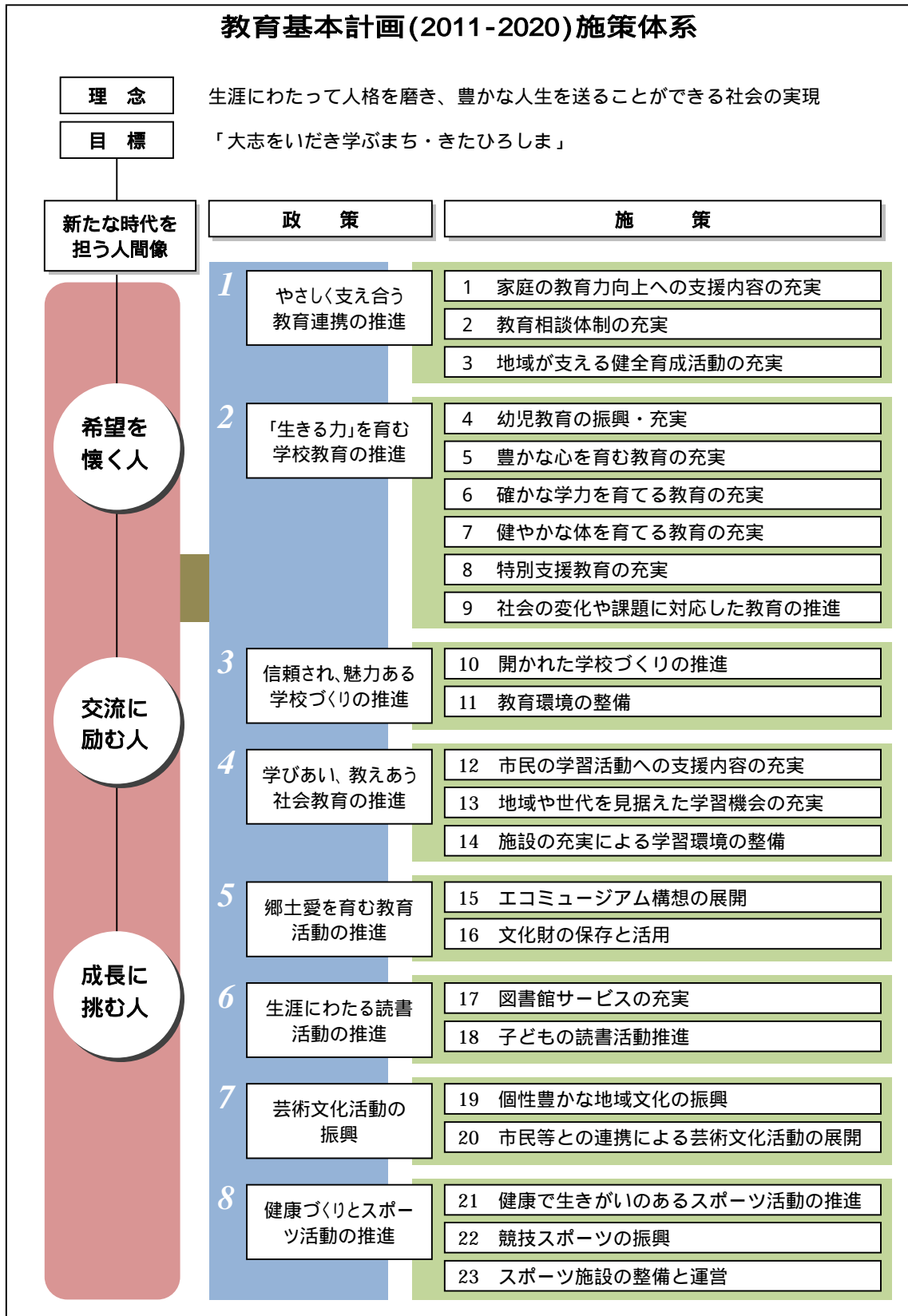


図2 北広島市教育基本計画の施策体系



政策及び施策の推進について

1. 先人たちが伝える精神と教育基本計画に定めた視点の反映

教育基本計画は、本市開拓期にゆかりのある偉大な先人、W.S.クラーク、中山久蔵、和田郁次郎の3人が伝える「懐く」・「励む」・「挑む」の精神を人材育成のキーワードとし、8つの政策と23の施策によって「これからの人づくり」を目指します。

また、教育基本計画には政策と施策を推進するうえで求められる5つの視点（「生涯学習環境整備」「社会貢献人材育成」「産学官民の連携」「地域の教育力」「総合的な教育施策」）を定めました。

教育推進計画では、教育基本計画を着実に推進するため、8つの政策・23の施策に基づいて実施する個別事業に、先人が伝える精神性や基本計画に定めた5つの視点を反映させていきます。

2. 計画の進行管理（点検と評価及び見直し）

教育推進計画は、教育基本計画に掲げた政策・施策を着実に実施していくための個別事業で構成しています。

人づくりを目指す政策・施策の進行状況や成果は、できる限り数値に置き換え、計画的な事業実施により着実に計画目標を達成するよう努めます。

そこで、一つひとつの個別事業において、先人たちが伝える精神「懐く」・「励む」・「挑む」を、事業を動かす推進力としてとらえ、その中から特に強く作用させるアクションを掲げます。（表1）

また、前述した5つの視点の中から、個別事業がより大きな成果を得るために必要とする視点を掲げ（表2）、一つひとつの事業の推進状況が教育基本計画の理念に沿うものであることを示します。

これらを踏まえ、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき毎年実施している「北広島市教育委員会が取り扱う事務について自ら行う点検及び評価」との整合も勘案し、毎年、事業のきめ細かな点検評価と施策ごとの評価・見直しを行うことにより、教育推進計画の進行状況を管理していきます。

3. 次期教育推進計画

次期教育推進計画は、上述した点検評価及び見直しについて北広島市教育施策審議会が審議した内容を踏まえ、市教育委員会が決定します。

表1 事業推進力となる先人の精神と事業に作用させるアクション

先人の精神(事業推進力)	アクション	該当する事業
W.S.クラーク 希望を <u>懐く</u>	めざす (堅実性) 備える (先見性) 創る (独創性)	目標を目指し堅実に歩みを進めてゆく事業 先を見た展開が必要な事業 北広島独自の内容をもつ事業
和田郁次郎 交流に <u>励む</u>	続ける (継続性) 整える (効率性) 拡げる (拡張性)	長期にわたる継続が必要な事業 効率化、縮小など整理が必要な事業 拡大・充実すべき事業
中山久蔵 成長に <u>挑む</u>	点検する(意識性) 改善する(向上性) 転換する(改革性)	点検を怠らず高い意識で進める事業 より高い成果を求め工夫・改善が必要な事業 廃止などの根本的な改革が必要な事業

表2 政策・施策の推進に求められる5つの視点

5つの視点	該当する事業
視点1：生涯にわたる学習環境の充実 いつでも、どこでも、だれでもが学習することができる学習環境を整備する視点 「生涯学習環境整備」	生涯にわたる学習環境の充実に視点を置く事業 事業の例 【ハード事業】学校施設・体育施設等の改修事業など 【ソフト事業】生涯学習振興会支援事業、学校教育振興事業、文化財保存活用事業 など
視点2：たくましく生きる力をもち、社会に貢献する人材の育成 心身ともに健康で豊かな教養と社会性を有し、郷土を愛し、社会の一員として地域づくりに貢献できる人材を育てる視点 「社会貢献人材育成」	地域づくりに貢献できる人材の育成に視点を置く事業 事業の例 成人式開催事業、図書館フィールドネット連携事業、文化賞等表彰事業 など
視点3：産・学・官・民の「協働社会」の推進 産・学・官・民がそれぞれの機能を十分に発揮し、相互が補完し合いながら、新たな地域づくりを進めていく視点 「産学官民の連携」	産学官民の連携による地域づくりの進展に視点を置く事業 事業の例 芸術文化ホール運営委員会連携事業、芸術文化ホール管理 など
視点4：学校、家庭及び地域住民が一体となった教育力の向上 学校、家庭及び地域が、それぞれの役割と責任を自覚し、相互の連携協力により地域の教育力の向上を図る視点 「地域の教育力」	学校・家庭・地域の連携による教育力の向上に視点を置く事業 事業の例 市P連支援事業、青少年健全育成啓発事業、学校支援地域本部事業、エコミュージアム普及推進事業 など
視点5：総合的な教育施策の推進 学校教育と社会教育はもとより、子育てや経済・労働などの分野と連携し、総合的な教育施策を推進する視点 「総合的な教育施策」	行政内の連携による総合的な教育施策の進展に視点を置く事業 事業の例 家庭教育支援事業、読書環境整備事業、青少年関係事業 など

参考

<p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年6月30日法律第162号) 抜粋</p> <p>(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)</p> <p>第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。</p> <p>2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。</p>

8つの政策と23の施策を進める個別事業

教育基本計画及び教育推進計画の政策・施策体系に沿い、各施策の個別事業について、事業内容、推進計画、期待されるアクション、必要な視点、前年度の実績及び評価等を掲載します。

- * **教育推進計画に掲載する事業**
市の推進計画（第2章）に掲載された教育政策に係る事業
経常経費に係る事業（市の推進計画には掲載されない）
- * **拡大事業の掲載方法について**
市の推進計画と同様、教育推進計画でも継続分と拡大分を別個に掲載します。
・個別事業の継続分及び拡大分を別々に掲載。（拡大分には【拡大】と表記）

凡例（個別事業の推進計画及び評価）

教育推進計画事業コード 2 - 07 - 003
政策通番 - 施策通番 - 事業番号

着色(黄) 市の推進計画に掲載された事業
着色なし 市の推進計画に掲載されていない 経常経費

期待されるアクションと説明

必要とされる視点と説明
：不可欠な視点
：必要な視点

アクション・視点に対する評価の参考とする指標

2-07-003	事業内容	平成27年度	平成28年度	平成29年度	めざす	続ける	点検する	◎	○	平成26年度実績
食に関する指導の推進事業	児童・生徒が生徒にわかりやすい健康な生活を送ることができるよう、学校給食、教科等の時間の中で、自分で健康を養える力を育むため、食に関する指導の充実を図る。	学校栄養教諭による食に関する指導の実施	学校栄養教諭による食に関する指導の実施 「食の課題と指導の手引き」改訂版の作成	学校栄養教諭による食に関する指導の実施	児童・生徒が健康な生活を送るために食習慣や食に関する自己管理能力等を身につけることを目指す。	継続	点検	◎	○	学校栄養教諭を中心とした、食に関する指導を実施した。
					評価指標 食に関する授業実施時数					
					平成26年度の評価	A	平成26年度の評価	A		
市計画<208> 給食センター	継続 事業費(千円)	継続 58	継続 564	継続 61	望ましい食習慣を身に付け、地域健康を維持していくための食指導を実施した。					継続 58

事業名・市計画番号・担当課

・計画番号のある事業は市の推進計画掲載事業

事業内容・市計画判定・3年間の計画内容

前年度事業のアクション・視点に対する評価及び説明
(評価A：できている、評価B：ある程度できている、評価C：できていない)

・前年度事業の実績
・市計画判定
・決算見込額

灰色帯：市の推進計画で新規に掲載された事業

赤帯：経常経費に係る事業